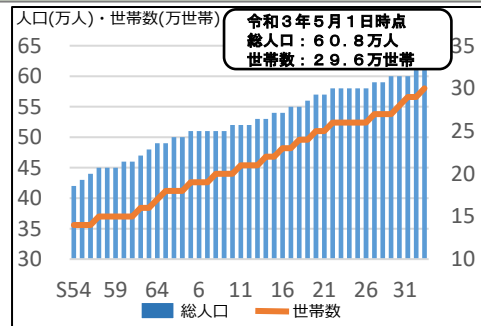


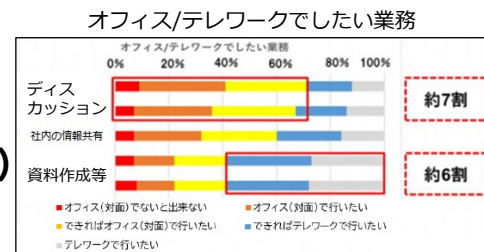
地区の特長

- 「本当に住みやすい街大賞」において2年連続で1位に選ばれるなど、近年、「**住むまち**」としての**魅力が再認識**
 - ・**都心へのアクセスの良さ**等から、住宅を中心とした開発が促進
 - ・ホールや図書館等の**公共的機能が充実**
 - ・**川口西公園**や荒川等の自然が駅近くに存在(川口西公園は、約3.8haと、駅前公園として国内有数規模)



社会情勢の変化

- 新型コロナ危機を経た社会の変化**
 - ・ワークスタイル/ライフスタイルが変化
- 災害の頻発化・激甚化**
- 人生100年時代**
- SDGs（持続可能な開発目標）**
- AI・IoT等の技術進展**



地区の課題

〈交通〉

鉄道輸送力の不足と交通結節点としての機能の不足



【平日朝の混雑の様子】



〈都市機能〉

拠点的商業施設の撤退による賑わいの低下



〈回遊性〉

拠点施設への移動の円滑化が必要



〈オープンスペース〉

オープンスペースの更なる活用が必要

■川口西公園



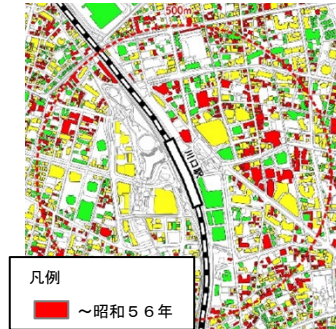
■キュポ・ラ広場



〈防災〉

災害時の避難のためのスペース不足等が懸念

■川口駅周辺建物築年数



帰宅困難者の推計は約10,000人
受入れ可能人数の想定は約6,715人

〈都市景観〉

市の玄関口としての都市景観の魅力不足

＜駅舎・駅前空間＞



＜東口景観＞



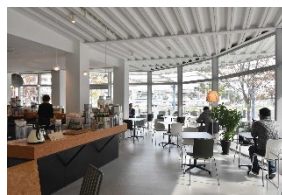
「住むまち」を超えて、働き、活動し、憩うまちとして発展することで、「住みたいまち」・「住み続けたいまち」へ

まちづくりの方向性(案)

鉄道輸送力の増強と交通需要に対応した使いやすい拠点の形成



賑わいの維持向上とコロナ後の社会に対応した新たな都市機能導入



ウォーカブルの促進とMaaSなどスマートシティの推進



コロナ後の社会に対応した多様な使い方を誘発するオープンスペースの創出



駅前拠点に相応しい防災力の確保



住みたいまち・住み続けたいまちを目指した魅力ある景観形成

